

お告げのマリア修道会

まごころ会

2023年5月

Tel.095-846-8300



QRコードから
アクセスして
下さい

『わたしは主のはしたためです。』

お言葉どおり、この身になりますように。』

「私は、キリストを映していますか」

〜 靈的遺産を携えてともに沖へ漕ぎ出そう〜

新年度が始まり、4月17日〜19日に院長会が行なわれました。今年度も、このテーマに沿って、お告げのマリア修道会が同じ心で神様のご計画のうちに生きることができましようにと思いを新たにしました。

プログラムの中で、共同生活、靈的生活、使徒的生活、養成に関してなどなど、様々な角度から話し合い、分かち合い、歩むべき方向とともに確認しました。

今年度もまごころ会員の皆様のお祈り、お支えをよろしくお願いいたします。

まごころ会会員帰天、お祈りください

- ・マリア 尾上妙子 93歳 青砂ヶ浦教会
- ・カタリナ 道向ミツエ 91歳 三井楽教会
- ・ヨゼフ 中尾 実男 88歳 三井楽教会

会員帰天、お祈りください

- ・カタリナ Sr. 川口フミノ 十字修道院



お恵みでおなか一杯になって、
大空を泳げますように



聖母月が

始まります



1858年、2月11日、ベルナデッタ・スビルーと言う14歳の貧しい少女に聖母マリアが現れました。ベルナデッタは小さな洞窟から光が輝射し、その中に真っ白な着物を着て、両手を開き、ほほえんでいる美しい女性を見ました。

「15日間ここに来るように」とその女性から言われたベルナデッタは、洞窟に通い続けました。はじめは、ベルナデッタがおかしくなっただと思ひ、冷笑していた人々も、しだいに彼女とともに、洞窟に通い、祈るようになりました。

2月25日のご出現のとき、その女性の言われるままに、ベルナデッタは洞窟を掘り、そこから湧き出た濁った水を飲みます。人々が後で、彼女が掘った穴を見つけ、同じように水を飲むうとすると、水は量を増して、こんこんと湧き出、次第に澄んでいきました。

その後1866年にベルナデッタはヌヴェールの修道院に入り、2度とルルドを訪れることはありませんでした。

ご出現から21年目の1858年、病弱な身をイエスに捧げながら35歳の生涯を閉じました。現在、彼女の遺体は腐敗せぬまま安置されています。1933年、ベルナデッタは聖人に加えられました。

私たちも、マリア様の心を心として生き、世界に真の平和が訪れますようにと祈りたいと思います。

